

# 総合診療科研修の紹介



## 総合診療科 専攻医 3 年目

### これまでのローテーション

| 4～6 月    | 7～9 月 | 10～11 月 | 12 月～3 月 |
|----------|-------|---------|----------|
| 総合診療     | 小児科   | 総合診療    | ER       |
| 緩和ケア     | 消化器   | 呼吸器(外部) | 糖尿病(外部)  |
| 地域研修(外部) |       |         |          |

### ☑ 研修実績 …手術数、患者数など

耳原総合病院総合診療科では基本的には入院患者の主治医として研修を行います。研修期間を通じて一度に 6-10 人程度の患者を受け持つことになります。研修期間中の一日の流れとしては午前 7 時半頃から受け持ち患者に変化がなかったかひとりで回診をして、午前 8 時から若手の指導医や専攻医、初期研修医と病棟患者の治療方針や予定について確認を行います。午前 9 時の朝礼後にその日の新入院患者の振り分けがあり、午前 10 時までにその患者の情報を整理して、午前 10 時に部長や同僚に向けて新入院患者のプレゼンテーションを行います。その後に病棟回診を総合診療科全員で行います。回診中に自分で考えたプランの中で足りないことや自分では気付かなかったことを教えてもらえるので、それを元にその日のプランをまとめ直して午後 4 時まで病棟業務を行います。午後 4 時から夕方カンファがあり、新入院患者のフルプレゼンと他の受け持ち患者についてその日にやったことをプレゼンして 1 日が終わります。

### ☑ 特徴（魅力） …強み、他院との違い、指導体制、カンファレンスなど

総合診療科の特徴としては、救急外来でまだ診断がついていない症例は当然ですが、当院内科の事情もあり、呼吸器関連と感染症に関する患者を受け持ちする機会が多いです。また、当院には脳神経内科・外科がないので軽度の脳梗塞患者の受け持ちも時々あります。病院として救急に力を入れているので、他の病院では敬遠されるような複雑かつ難しい問題を抱えた患者を受け持ちすることも多いと思います。それは複雑に多疾患が併存しているというだけではなく、社会的な問題も含めたマネジメントを要求されることもあります。そのような様々な問題に対処する必要があるので、患者への全人的な関わりについて考えさせられることが多いです。

### ☑ 初期研修医へのメッセージ

総合診療科の部長は身体診察の技法について詳しい先生なので、回診時に実際の患者を通して必要な身体所見の取り方について一通り指導してもらえます。身体診察は手術のように直接一緒に指導してもらってはじめてコツがわかるようなことが多いので貴重な機会になると思います。当然すぐに習得できるものではありませんが、型を身に付けるつもりで指導を受けることができれば医師として一生の武器になると思います。